

第14回 大阪市立大学 教育改革シンポジウム

「大学院重点化時代の 学士課程教育システムを考える」

～質の高い教育のための

カリキュラムマネジメントと単位制度実質化～

日時： 2007年 8月1日(水)

午後2時～4時30分

講師： 小笠原 正明

東京農工大学大学教育センター教授

元北海道大学高等教育機能開発総合センター教授
高等教育開発研究部長

舘 昭

桜美林大学大学院国際学研究科教授

元大学評価・学位授与機構教授

場所： 大阪市立大学 杉本キャンパス

高原記念館1F 学友ホール

司 会： 西垣 順子・飯吉 弘子（大学教育研究センター）

当日参加も大歓迎ですが、参加を希望される方は、大阪市立大学・大学教育研究センター(center@rdhe.osaka-cu.ac.jp、FAX06-6605-2137)まで、氏名・所属・連絡先(E-Mail)を、ご連絡ください。

現在、日本の大学で大学院重点化が進みつつある中、大学院はもとより学士課程教育段階においても、質の高い教育を今後もおこなっていくために、カリキュラムマネジメント・単位の实質化など「大学教育システムの再構築」の必要性が生じてきています。

今回の教育改革シンポジウムでは、この10年の間に北海道大学で実際にカリキュラム改革に携わってこられた小笠原正明先生と、大学の質保証・学士課程教育の制度保障について研究されてきた舘昭先生を講師にお迎えします。

科学教育・理工学教育のカリキュラムマネジメント、単位制度の意義と意味、成績評価性どのあり方と教育・学習への影響など、幅広い観点から大学の教育システムのあり方や質保証についてお話いただく予定です。

主催：大阪市立大学 大学教育研究センター